

- 部 会：各教科・道徳・特活部会に分かれ、各内容について解説と研究協議
- 紹 介：福島県の名所等のフィルム紹介
- 懇談会：県講習会の持ち方、分担、運営の仕方（県講習会）
- 開会式：県教育長、会場研究会長等あいさつ
- 総 則：本庁と教育事務所指導係主任が解説
- 部 会：各教科（1時間の解説と10分質疑）
道 徳（50分の解説と10分質疑）
特 活（50分の解説と10分質疑）で、分担によって解説する。

(9) 講 師

（地区講習会）

- 文部省、各種大学教授陣 27名
（県講習会）
- 本庁関係 9名
教育事務所所長 16名
" 管理主事 16名
" 指導主事 55名
市教育委員会指導主事 3名
市町村立学校教員 13名

(10) 所見（県講習会）

- ① 日程、会場、運営、要項等の作成に検討を重ね、受講者のためにと審査だった教育事務所指導主事の計画はすばらしいものであった。
- ② 講師陣も受講者に少しでも理解してもらおうと印刷したりして、心をくだいた配慮は敬服する。
- ③ 受講者も、教科主任、教頭、校長等が主だったので、真剣であった。
- ④ 県作成の要項を全職員に配りたいという熱心な校長、指導主事の声があった。
- ⑤ 細部にわたって研究しておき、質問に応じられるように、各部会ごとに配慮し、会員の要望に答えたい。
- ⑥ 2日間が適当であったが、研究協議の時間が少なかった。講師も受講内容をまとめて、すっきり講義し、主観的答弁をさげようとつとめたのであるからやむを得ないものであったらと思う。

高等学校教育課程研究集会

(1) 目 的

高等学校の教育課程の実施に伴う指導上の問題点を研究協議し、その解明を図り指導力の向上に資する。

(2) 主 催

文部省、福島県教育委員会

(3) 時期・会場

① 普通教科、科目に関する部会

ア、保健・体育、書道以外

- 7月24日（水） 25日（木）
会津地区 会津女子高等学校
8月5日（月） 6日（火）
浜地区 富岡高等学校
8月12日（月） 13日（火）
県南地区 安積女子高等学校
8月19日（月） 20日（火）

県北地区 福島西女子高等学校

イ、保健・体育

7月24日（水） 25日（木）

会津地区 会津女子高等学校

8月5日（月） 6日（火）

浜地区 富岡高等学校

8月19日（月） 20日（火）

県南・県北地区 福島西女子高等学校

ウ、書 道

8月12日（月） 13日（火）

県全地区 安積女子高等学校

② 職業に関する学科の部会

ア、農業、商業、工業

8月12日（月） 13日（火）

県全地区 安積女子高等学校

イ、家 庭

7月24日（水） 25日（木）

会津地区 会津女子高等学校

8月5日（月） 6日（火）

浜地区 富岡高等学校

8月26日（月） 27日（火）

県北・県南地区 郡山女子高等学校

ウ、水産部会

8月8日（木）

小名浜水産高等学校

(4) 参加者

- 国語 担当教諭の1/3
- 社会（日本史） 担当教諭
- 社会（政治・経済） 担当教諭
- 数学 担当教諭の1/3
- 理科（地学） 担当教諭
- 芸術（書道） 担当教諭
- 保健体育 担当教諭の1/3
- 外国語 担当教諭の1/3
- 特活・学校行事等 各校2名程度
- 農業 農産加工、畜産加工担当
- 工業 電気、電子担当教諭
- 商業 商業一般、商事、経営科目担当者
- 水産 担当教諭
- 家庭 家庭一般、家庭経営担当者

(5) 研究会の運営

① 部会は下記のとおりとする。参加者はそれぞれ一つの部会に所属して研究する。なお、部会には指導助言者、司会者、発表者、記録係をおく。

発表者は、別表（略す）により学校割当てとするので、各学校では発表を考慮して参加者を決定することが望ましい。

国語、社会（日本史）、社会（政治、経済）、数学、理科（地学）、芸術（書道）、保健体育、外国語、特活、学校行事等、農業、工業、商業、水産、家庭

② 各部会ごとに研究問題として設定された問題を中心に研究する。

（研究問題は、事前研究の手びきに示してある）